



わたなべ ともひろ  
渡邊 智大 議員

今回の一般質問でも  
パネルを用意して活用  
しました

# 問 児童センターでの給食提供は

## 教育長 清掃期間などの問題がある

### 作業療法士など 発達専門家配置は

全国的に学童保育の待機児童の増加が問題となっており、今年の待機児童数は過去最高を更新した。

本町では待機児童がいないが、昨年の利用者アンケートでは「楽しい」との回答が半数を切っており、保育体制の充実が求められている。社会福祉士や作業療法士など専門人材を配置して保育の質の向上を図る考えはあるか。

教育長 美幌療育病院と連携し年に1回、作業



放課後や長期休業中に小学生が活動する児童センター

療法士と児童の観察や職員とのカンファレンスなどにより助言を受けている。現在のところ専門人材の配置は考えていない。

年に1回だけではなく、日常的に専門家の意見をもらえれば理想と考えるが、国の巡回アドバイザー配置補助の活用などによる訪問頻度の向上の考えは。

教育長 まずは美幌療育病院との連携の強化に努め、巡回アドバイザーについては今後、調査研究する。

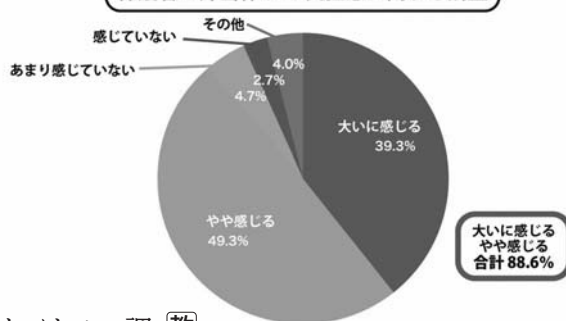
### 町内団体や 社会教育との連携

スポーツ団体や文化団体に体験活動を行ってもらうことで、活動の充実も図れ、メンバー不足の団体も子どもたちとつながると思いが、そういった連携は考えているか。

また「竹の子クラブ」など社会教育事業との連携の考えは。

教育長 子どもたちの意見も取り入れながら、検討を進めたい。

保護者の弁当作りの負担感に関する調査



「学童保育における長期休業中の昼食の現状と課題」(2024)  
宮城学院女子大学 平本福子名誉教授らの調査より

### 長期休業中の 給食提供は

東北や関東圏を中心とした宮城学院女子大学の調査では長期休業中の弁当作りについて約90%の保護者が負担を感じているとの結果だった。

昨年6月にはごども家庭庁より長期休業期間中の昼食提供に関する通知もあったが、本町での対応は。

教育長 児童センターに調理場はなく、給食センターは、長期休業中は清掃や機器のメンテナンスの期間となっており、提供は難しい。

長期休業中、常にメンテナンスをしているのか。給食センターが使えない期間は弁当業者やごども園の調理場を活用して、提供する体制を作れないか。

教育長 給食センターは築50年近く経過しており、老朽化しているためメンテナンスは長期間になる。長期休業中はごども園との間で調理員の派遣などもしており、調理員の体制の課題もあり難しい。



渡邊議員の一般質問を視聴できます